



# よしかず 京都府議会議員 堀保祥一 府政報告

# 筆やん通信

第1号 (2024年3月)

ごあいさつ

本年1月1日に発生いたしました能登半島地震におきまして、お亡くなりになられた方々に衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。一日も早く復興を成すことを、私も近隣府県の議員として、支援の働きかけを積極的に行ってまいりたいと考えております。

改めまして、昨年4月の統一地方選挙におきまして、皆さまから多大なるご支援を賜り、府議会へ送り出させていただきましたこと、厚く御礼申し上げますとともに、私たちの暮らす木津川市・相楽郡をより暮らしやすく、魅力あるまちにしていくため、日々研鑽を重ねていく所存でございますので、何卒宜しくお願い致します。

さて、早いもので議員就任から1年が経とうとしておりますが、この間、さまざまな経験と活動をさせていただきました。皆さまには、日々の活動をご報告する機会をなかなか設けることができなかったことにつきまして、心よりお詫び申し上げます。

この「筆やん通信」では、私の府議会や地元での活動を皆さまにわかりやすくお伝えしますとともに、皆さまとご一緒に、よりよいまちづくりを目指すための情報発信を定期的に行って参りたいと考えております。お時間の許しになる時で結構ですので、ご拝読いただけましたら幸いです。

昨年9月の定例会では初めて一般質問にて登壇し、私のライフワークである福祉政策や地元の道路交通について知事の見解を質しました。例月の常任委員会、そして特別委員会においても、府の施策について積極的に質問・提案をさせていただいております。また、現在会期中である2月議会におきましても、予算特別委員会に所属しており、令和6年度予算について審査を行っております。

やらなければいけないこと、やりたいことが山積しているこの木津川市・相楽郡、府議の職責を全うすべく、これからも全身全霊をかけ課題に果敢に取り組んでまいりますので、今後も何卒、ご指導ご鞭撻を賜りましたら幸いです。宜しくお願い申し上げます。

令和6年3月

京都府議会議員 堀保祥一 筆

## 所属会派

国民民主党・日本維新の会 京都府議会議員団  
府議会の議員定数は60名、当会派は12名となり第2会派となっています。

## 所属委員会

以下の常任委員会・特別委員会に所属しています。(任期は1年)



### 政策環境建設常任委員会

総合政策環境部・建設交通部の所管及びそれに関連する事項について報告を受け、議案や請願等の審査や所管事項の質問を行います。



### 文化力と価値創造に関する特別委員会

伝統文化、生活文化などの継承・発展や文化と観光、食、伝統産業、先端産業などあらゆる分野との融合により、新たな価値を創造し、発信するための施策について調査・研究します。



## プロフィール

1972年 岡山県津山市にて生まれる。  
岡山県立津山東高校、日本大学理工学部卒業。  
1995年 大手ゼネコンに入社。阪神・淡路大震災復興事業に従事する。  
1999年 建設省・国土交通省にて河川砂防技術者として、主に琵琶湖・淀川水系の河川整備計画、土石流対策技術指針作成ならびにダム計画に従事。  
2004年 神戸市役所に行政職として入庁。保健福祉・環境・交通行政に従事する。  
2015年 衆議院議員公設第一秘書として、京都府第6選挙区にて従事。  
2023年 京都府議会議員選挙に木津川市・相楽郡選挙区より立候補し、初当選。



「誰の為の政治なのか」を常に心の根底に据え、今までの経験から培われたノウハウと持ち前の行動力をフル稼働させ、議員活動に邁進してまいります!

令和5年9月議会

一般質問を行いました！

9月22日、私のライフワークである福祉施策に関連する2つの質問を、また地元の道路整備に関する鷺峰山（じゅうぶざん）トンネル開通後の周辺府道の整備について、1つの質問を行いました。なお、質問の様子は京都府議会録画配信（<https://gikai.congress-streamsp.jp/KyotoPrefGikai/embedPlayer.asp?Id=20230925172503>）にてご覧いただけます。

私の一般質問の様子はこちらのQRコードを読み取っていただくとご覧いただけます。



1. 障害者就労継続支援事業所に対する府の対応について

筆の質問



就労継続支援事業所の利用者は、施設で行う作業が賃金や工賃に反映され、利用者へ支払われる。その作業の成果物が業者や消費者に購入されるかどうかで収入が大きく変動する。また、作業内容の違いで事業所間で賃金や工賃に差が生じている。就労支援A型事業所では最低賃金を払えるだけの収益を確保する生産活動が行われず、経営改善が必要な事業所が全体の7割に上るとの指摘もある。B型事業所は雇用契約に基づくものではないことから、工賃としての支払いとなり、最低賃金を大きく下回る状況となる。賃金や工賃の向上に向けた取り組みは事業所だけの努力では限界があり、行政による指導や支援が必要と考えるが、府として商品開発や販路拡大のための支援等に積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

府答弁

令和3年度の府内就労継続支援事業所の賃金・工賃は全国平均を上回っているが、一方で障害の特性や作業内容の違いや就労に従事する日数や時間が短くなると平均を下回る事業所もある。それぞれの特性や能力が十分発揮されるよう、企業等から多種多様な仕事を数多く確保することが必要と考え、府では京都市と連携し「京都ほっとはあとセンター」を設置し、事業所の仕事の確保を支援しているが、今後も積極的に新商品開発や販路拡大等の事業所に対する支援を通じて、賃金・工賃の向上を図っていききたい。

筆の視点①

“障害者就労における福祉施設の経営改善”

経済動向に大きく左右される事業であり、コロナ禍においてのイベント開催自粛も相まって大変経営が苦しいとお聞きしております。障害のある皆さんの就労機会を確保していくためにも、また、「親なき後」と一般に言われる問題についても、引き続き社会全体で考えていく必要があると思います。私も福祉関係の行政に携わっていた経験もあり、よりご家族に寄り添った取り組みができるかを考え、提案していければと思います。

2. 児童養護施設の入所児童への支援について

筆の質問

どのような境遇におかれた児童も全て法的権利を有している。保護者のいない児童や保護者の監護が適当でない児童を養護し、成長と自立を支援する児童養護施設の入所児童への支援に関し、府の所見を伺いたい。

- 1 入所する高校生の中にはスマートフォンを所持していないことで学校に馴染むことができず、授業に支障が出ている生徒もいると聞く。スマートフォンに限らず入所児童の不利益等がないよう、府の独自事業として充実すべきと考えるがどうか。
- 2 施設は原則18歳での退所が定められているが、そのことから大学進学を諦め、就職による収入確保を優先する実態となっている。子育て環境日本一を掲げる京都府として、子育てをする側だけでなく、厳しい境遇に置かれた子どもも将来に夢を持ち、進めるようにすることが社会や大人の務めと考えるがどうか。

府答弁

府では独自事業として施設の子どもたちへ、入学祝金・就職祝金をはじめお年玉の支給など実施しており、活用いただいている。また、保護者の適切な養育を受けられない子どもたちが、心身ともに成長できる養育環境を整備するため、「家庭的養護の推進に向けた京都府推進計画」を策定し、施設等と一体となって社会的自立に向けた支援を行ってきた。施設では進学や就職において子ども一人ひとりの希望を聞き取り、子どもの希望や学力に応じた学習塾や通信教育などで学習の機会を提供している。今後とも施設と十分に意見を交わしながら連携し、支援していきたい。

筆の視点②

“どのような境遇におかれた子どもたちも「子育て環境日本一」を実感できる京都府に”

困難な状況におかれた子どもたちも将来に夢が持て、その夢に進んでいける体力をつけることができるために社会全体、大人たちが支えていくことが使命だと思っております。府知事が掲げる「子育て環境日本一」を目指すためにも必要な提案も行いたいと思います。

3. 和束町内を走る府道5号木津信楽線の安全対策について

筆の質問

府道5号木津信楽線は、和束川と急峻な法面の間を縫うようにして国道163号から和束町中心部へ抜ける路線であり、和束町民にとって重要な道路であるとともに、サイクリングルートとしても利用が進んでいるが、大型車や路線バスの離合困難な箇所に加え、鷺峰山トンネルの完成による交通量の増加も想定されるなど、さらに危険な状態になると危惧している。重大な事故が発生する前に道路管理者である府として目に見える形で安全対策を講じていく責務があると考え、所見を伺いたい。

府答弁

国道163号交差点から和束町中心部までの区間については、平成16年までの5か年平均で年間2.8件の事故が発生していたが、17年度より道路整備を順次実施し、令和2年度には国道163号交差点から府道宇治木屋線の白栖橋交差点までの幅員を確保でき、令和4年度までの10年間の事故発生件数は年間0.7件と大きく減少している。引き続き、道路利用者の安全確保に向けて、トンネル開通後の交通変化も注視しつつ、運転者などの法令遵守徹底のための関係機関との連携した取組とともに、安心・安全な道路整備に努めてまいります。



筆メモ

私が質問した離合困難な箇所については、和束町にお住まいの方や木津信楽線をよく利用される方はよくご存知かと思えます。現在のところ、事故発生件数は減少していますが、近い将来、鷺峰山トンネル、新名神高速道路が開通することで交通量の増加は必至であり、またサイクリングルート「日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」を巡るサイクリングマップ～京都・山城～」にもなっていることから、いつ重大な事故が起こるとも限りません。そのような理由から、6月29日の政策環境建設常任委員会でも同様の質問をさせていただいた経緯があります。上記一般質問でも前向きな答弁をいただかなかったことから、9月28日に開催された同委員会において、改めて離合困難区間の整備について確認を求めたところ、府建設交通部から整備を進めていくとの回答を得ました！質問の様子については、京都府議会録画配信（<https://gikai.congress-streamsp.jp/KyotoPrefGikai/embedPlayer.asp?Id=20231002112517>）でもご覧いただけます。私の質問は23分20秒頃から、府道整備関連は29分40秒頃からとなります。



## 常任・特別委員会での発言内容

私が所属している常任委員会・特別委員会において質問した内容です。発言内容を詳しくご覧になりたい方は、下のQRコードから開催日・会議名を選んでご覧ください！表にある「政策」は政策環境建設常任委員会を、「文化」は文化力と価値創造に関する特別委員会を指します。



6月28日 京都府ごみ処理広域化プランの策定について  
**政策** 市町村との連携ほか、問題点について質問しました。

6月29日 府道62号宇治木屋線整備について  
**政策** 和束町白栖から木屋間の整備計画、交通量増加に伴う府道5号安全対策

9月27日 PCB特別措置法に基づく府下処分状況について  
**政策** 京都府下のPCB廃棄物の処分の現状について質問しました。

9月28日 2024年問題・運転者不足による路線バス廃止について  
**政策** 公共交通継続に向けての府の支援について質問しました。

9月28日 一般質問後の木津信楽線についての再度質問  
**政策** 見開きページの右下側「筆メモ」をご覧ください。

12月15日 子育て環境日本一における待機児童の今後について  
**政策** 待機児童数の捉え方（潜在的待機児童等）について質問しました。

12月15日 京都府ごみ処理広域化プラン（相楽郡東部）について  
**政策** 2町1村の広域連合化に対するフォローアップについて要望しました。

12月18日 木津総合庁舎及び木津警察署の老朽化ならびに堤防破壊時における現在の立地状況の危険性について  
**政策**

12月19日 太秦メディアパーク / 日本が目指すメタバースの方向性について  
**文化**

1月18日 食品ロスにかかる現状について  
**政策** 食品残渣の削減にまで踏み込んだ食品ロス対策について質問しました。

2月7日 お茶の京都 DMO / 京都南部の持続可能な観光政策について  
**政策**

## 3月14日 予算特別委員会 総括質疑を行います！

令和6年度の当初予算に関して、総括質疑を行います。（質疑内容は次号でお知らせします。）



## 筆 府政相談を行っています！

### 事務所のご案内



木津川市役所の近くに事務所を構えております。府政をはじめ、地域のお困り事の相談もしております。府政と言いますと皆さまには身近なものではないように思われるかもしれませんが、どのようなことでも構いません。また、事務所にお越しいただくことが困難な場合は事務所までご連絡いただき、日程調整のうえ参上いたしますので、ぜひ一度ご相談ください！

### 発行者

京都府議会議員 ふでやす 祥一

〒619-0214 木津川市木津南垣外 118-3 井関ビル 203

☎ 0774-66-7733 FAX 0774-66-7732

✉ yoshikazu.fudeyasu@gmail.com